

令和4年2月14日

那賀医師会 会員各位

那賀医師会

地域医療担当理事 橋本 吉弘

令和3年度 第9回公立那賀病院との合同勉強会のご案内

公立那賀病院との合同勉強会を下記のとおり行います。ご多忙中とは存じますが、多数のご参加をお願い致します。

記

日 時：令和4年3月10日（木）午後4時から

場 所：公立那賀病院 北別館 1階講義室

演 者：公立那賀病院名誉院長 内科 近藤 溪先生

演 題：「糖尿病事象を、どう判断し、どう対処するか？」

～那賀圏域・糖尿病性腎症重症化予防

かかりつけ医登録制度での運用を視野に入れて～」

抄 録：

糖尿病は、その治療薬剤や関連機器の進歩によりコントロールが改善している反面、罹病期間の延長や高齢化に伴う合併症(特に腎症)に対しての公的医療費の増大も問題視されている。

これらの対策として、国は糖尿病腎症透析予防を推進、2012年から指導に対する保険適応を開始した成果として、透析導入例の増加に昨今歯止めが掛かってきたような統計結果が出ている。

腎症へのこの啓発・指導の有効性から、国保情報を元に自治体主導で腎症重症化予防事業が全国的に推進され、県・市からの要請もあって那賀医師会でも、「かかりつけ医・登録医制度」が発足し、多くの先生方からのご参画が得られている。

今回のミニ講演では、その制度の確認のみならず、腎症予防指導が病期進展に対し、どのように影響・効果を及ぼすか？当科での10年間の実績と、指導してきた具体的内容と重要点などをご覧いただき、年間500万円もの公的支出を要する透析患者を圏域で1人でも減らすべく、皆さまと共に議論を交わしたいと考えている。

※この勉強会は日本医師会生涯教育講座：1単位

カリキュラムコード：(76) を申請中です。

※お手数ですが、B会員の先生方にもご案内下さいますようお願い致します。